

国際経済, 貿易・国際収支

に関する17年間の雑誌文献目録

昭和23年 — 昭和39年

I 国際経済



編集・出版 日外アソシエーツ

国際経済, 貿易・国際収支

に関する17年間の雑誌文献目録

昭和23年 — 昭和39年

I 国際経済



編集・出版 日外アソシエーツ

国際経済, 貿易・国際収支, 関税の雑誌文献目録 昭和23年～昭和39年
I 国際経済

昭和57年5月10日 第1版第1刷発行©

定価 5,400円

編 者 「雑誌文献目録」編集部

発 行 人 大 高 利 夫

〔不許複製〕
〔禁無断転載〕

発 行 所 日外アソシエーツ株式会社

〒143 東京都大田区大森北1-23-8 第3下川ビル

振替 東京0-47971 電話 03(763)5241(代)

印刷・奥村印刷株式会社／製本・松栄堂製本所

乱丁・落丁本はお取替えいたします。

Printed in Japan

ISBN4-8169-0135-3

凡 例

I 本書の編成

本書は、弊社編 国立国会図書館監修「雑誌記事索引（人文・社会編）累積索引版」の第Ⅲ期および第Ⅳ期をもとに、国際経済、貿易・国際収支に関する文献目録として使い易いよう再編成したもので、昭和23～39年（1948～1964年）の17年間に発表された国際経済、貿易・国際収支に関する雑誌文献約7,000件を収録している。主題別の文献目録のほか、巻末に事項索引（主題および人名）と収録誌名一覧を付してある。

II 文献目録

1. 見出し語と分類

主題別の大項目を設け、その下をキーワード方式による見出し語（件名）を用いて細分してあるが、出来るだけ体系的な構成を考慮した。（17年間の文献を通覧し易いよう「雑誌記事索引累積版」の分類および見出しも修正し、編成しなおしてある） 記事の分類に際し2つ以上の主題にわたるものは必要に応じて重出・分出をしているが、必ずしも十分ではないので関連の主題項目にも留意してほしい。

2. 記載の形式

著者名、論題、所載雑誌名、巻号、発行年月、ページの順（但し一部分省略されているものもある）。著者が複数の場合、原則として全員記載してあるが、先頭1名のみを挙げ、「他」と付記したものもある。

例

千葉幸一 国際経済への参加：通信労働 3(1)〔'49.1〕p 22

3. 記事の排列

各項目の中の記事の排列は、著者名のあるものは個人著者・団体著者に分けてその読みの五十音順とし（姓の五十音順、次いで名の五十音順）、論題から記入されたものは著者から記入されたものの次に論題の五十音順としてある。同一著者のもとでは刊行年月順。五十音の読みは、濁音・半濁音は無視し、ヂ→シ、ヅ→ス、ヴ→ウとした。拗音・促音は（小文字で記してあっても）そのまま1字に読み、長音・重母音は表記法の如何にかかわらずそのまま発音通りに母音を重ねて読んでもよい。

III 事項索引

事項名（主題および人名）の排列は読みの五十音順による語順とし、掲載ページのほか見出し語およびその補足語を指示してある。（事項名がそのまま本文中の見出し語である場合はページのみを指示）。読みは上述のⅡ文献目録の第3項を参照してほしい。

例

景気循環論 → 国際経済変動	42
景気動向 → 国際景気動向	16
経済援助	
→ 経済協力・発展途上国援助	61
— (米国) → 対外援助	132
経済外交 → 対外経済政策	98
経済開発	72
→ 東南アジア	118
経済開発計画 → (E C A F E, E C A F	
E 諸国)	110
経済競争	37

IV 収録誌名一覧

排列は誌名の五十音順とし、誌名が欧文のものもその読みの五十音の位置に排列してある。又、誌名が「紀要」、「研究紀要」、「論集」など固有名として区分しにくいものは、その編集（又は発行）団体・機関名のもとに記載してある。

目 次

凡 例	i
-----------	---

文献目録

国際経済	1
(世界経済一般)	1
(経済展望・動向)	9
インフレーション・デフレーション	16
国際景気動向	16
国連経済報告	21
国際物価動向	22
資本主義国経済	23
(国際経済会議)	24
(世界経済白書)	26
O E C D (経済協力開発機構)	26
国際商品・市場	27
国際通貨・金融問題	28
国際分業	30
社会主義的国際分業	30
資源・食糧問題	31
F A O (国際連合食糧農業機関)	32
社会主義経済圏	33
世界経済と軍備・戦争	34
世界経済と貿易	35
B I A C (経済産業諮問委員会)	36
ブロック化	36
平和共存・経済競争・東西貿易	37
(国際経済学)	37
経済成長・経済発展	41
国際価値論	42
国際経済変動	42
国際収支論	43
国際均衡	43
トランスファー理論	44
資本主義・帝国主義論	44
世界市場	45
貿易理論	45
海外投資・資本輸出	46
外資導入	50
産業・企業と外資導入	56
産業別外資導入	56
民間外資導入	58
外資法	58
国際資本移動	59
資本自由化	60
資本輸出	60

経済協力・発展途上国援助	61
I C C (国際商業会議所)	63
U N C T A D (国連貿易開発会議)	64
M S A 援助	65
再軍備・防衛生産と M S A 援助	69
技術協力	70
経済開発	72
社会主義諸国の経済協力・援助	72
南北問題	73
発展途上国問題・理論	73
発展途上国経済開発・経済発展	76
マーシャルプラン・O E E C (ヨーロッパ経済協 力機構)	80
経済統合・共同市場	81
アジア地域統合・共同市場	82
E E C (欧州経済共同体)	82
(E E C 条約・法制)	87
(E E C と各国)	88
(E E C と日本)	89
イギリス E E C 加盟問題・E E C とイギリス	90
運輸・交通問題	91
通貨・金融問題	92
農業問題	92
貿易・関税問題	93
労働問題	93
コメコン (東欧経済相互援助会議)	94
ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体 (E C S C)	95
ラテンアメリカ共同市場・L A F T A	96
戦後処理	96
講和	96
在外資産・外国財産	97
対外経済政策	98
賠償問題	99
対インドネシア賠償	103
対ビルマ賠償	104
対フィリピン賠償	104
対ベトナム賠償	106
《対外関係・各国経済事情》	106
アジア・アフリカ	107
(E C A F E, E C A F E 諸国)	110
アフリカ	113
アラブ・中近東	114
イラン	114
北・東・中央アジア	115
韓国	115
台湾	116
中国	116
東南アジア	118
(コロンボ計画)	121

インドシナ・ベトナム	121
インドネシア	122
タイ	123
ビルマ	124
フィリピン	124
マラヤ連邦・シンガポール	125
南アジア	125
インド	125
パキスタン	127
アメリカ・オセアニア	128
中南米	128
ブラジル	129
アメリカ合衆国	129
対外援助	132
対外投資	135
民間対外投資	137
日米関係	137
(日米行政協定)	140
対日援助	141
日米経済協力	142
ソ連・東欧	146
ソ連	146
ヨーロッパ(西欧)	149
イギリス	150
ドイツ・西ドイツ	152
フランス	153
(書評・書誌)	153
書評	153
書誌	158
事項索引	161
収録誌名一覧	I

国際経済

(世界経済一般)

<昭和23年～29年>

- 明石景明 列強勢力の動向と世界経済——新しい国際環境と日本経済：経 済 3(5)〔'49.7〕 p9～13
- 明石景明 最近における世界経済の諸問題：商工経済 3(12) p8～11
- 赤松 要 戦後世界経済の構造変動——国際経済上の諸問題：エコノミスト 別〔'49.6〕 p12～16
- 赤松 要 世界経済の「根本的不均衡」とその是正の国際的責任：国際法外交雑誌 49(1) p1～26
- 赤松 要 世界経済構造的な不均衡：政経時潮 4(11) p17～18
- 赤松 要 世界経済における景気政策と構造政策：世界経済 5(4) p1～8
- 赤松 要 世界経済の分裂と日本経済：世界経済 5(9) p1～9
- 鮎沢 巖他 海外からみた日本と世界(座談会)：東洋経済新報 2386 p12～19
- 新本栄吉 世界経済と日本の立場：信用金庫 8(6) p14～20
- 有沢広巳, 脇村義太郎 1953年世界経済の諸問題(対談)：エコノミスト 31(1) p8～16
- 安東盛人 バランス・オブ・ペイメントの焦点：大阪経済評論 35(9)〔'52.9〕 p12～14
- 井伊玄太郎 発展する世界と日本：早稲田政治経済学雑誌 100 p177～200
- 飯田清三他 スターリン死去の影響をこらみる——国際政局と株界の見透し(座談会)：東洋経済新報 2567 p1102～1109
- 井汲卓一 当面する世界経済の相貌——業界不振の背景を衝く：輸出綿糸布月報 2(3)〔'52.3〕 p1～5
- 石野信一 知つておきたい問題：明 窓 3(5)〔'52.8〕 p90～93
- 石橋湛山 新年の世界と日本経済——上, 下——：東洋経済新報 2609 p466～470, 2610 p576～581
- 板垣与一 転換期世界経済の課題：産業と産業人 2(9) p2～3
- 猪谷善一 苦悩の世界経済：新日本経済 17(9) p11～12
- 一河秀洋 不況回避及び平価切下の問題：学術論叢 3 p88～99
- 稲垣守克 国連の経済より世界連邦へ：世界国家 4(10) p4～9
- 井上 勇, 福永英二, 秋山 操, 高橋正雄 世界の焦点を衝く(座談会)：前 進 27 p32～42
- 大内 力 世界経済と日本農業：世界評論 5(4) p13～21
- 大内兵衛, 脇村義太郎, 美濃部亮吉, 有沢広巳, 小椋広勝 世界経済の流れを追うて(座談会)：世界週報 30(1)〔'49.1〕 p26～37
- 大来佐武郎 世界経済の旅より帰りて：エコノミスト 28(29) p12～15
- 大来佐武郎 最近の世界経済：経済人 4(12) p28～31
- 大来佐武郎他 激動する世界経済と日本経済の方向(座談会)：国民経済 4(11) p2～29
- 大島堅造 マレンコフの登場と世界経済：エコノミスト 31(13) p12～14
- 大島堅造 一九五一年の世界経済を衝く：商工経済 4(1) p11～13
- 大平善梧 平和日本と新世界経済機構：国際法外交雑誌 47(3・4)〔'48.4〕 p75～105
- 小椋広勝 転換する世界経済：世界週報 30(30) p7～10
- 小椋広勝他 世界経済の変動と日本経済(座談会)：世界評論 4(11) p65～78
- 小田部謙一 ランドール報告とその世界経済への影響：経団連月報 2(3) p143～146
- 小原敬士 世界経済の問題点：産業と貿易 1(7) p13～15
- 小原敬士 1951年の世界経済とわが国の立場：産業と貿易 2(1) p12～14
- 景山哲夫 世界経済政策の樹立：商経学叢 3(1) p1～24
- 加田哲二 最近の国際情勢と日本経済の動向：職業指導 26(10) p577～589
- 加納久朗 世界経済の理想——世界経済の話——4——：東洋経済新報 2458 p20～21
- 加納久朗, 石橋湛山 世界経済の問題点と日本の役割——国際商工会議所大会より帰りて：東洋経済新報 2494 p37～40

- 神野正雄 国際経済機構加入をめぐる諸問題：経営者 5(11) p17～19
- 神野正雄 国際経済の波瀾と日本：実業展望 21(8) p2～3
- 亀井辰雄 世界平和と世界経済：経済系 14[52.12] p1～11
- 川北禎一 アイク新政府と世界経済：同盟時報 120 p21～23
- 川田富久雄 世界経済の構造変動：エコノミスト 28(15) p15～16
- 神野正雄 世界経済はどうなるか：経済情報 3(10)[52.11] p7～10
- 菊池武正 世界経済への参加と日本産業の前途：経営評論 3(9)[48.10] p26～29
- 具島兼三郎 植民地管理方式の史的発展：法律時報 24(7)[52.7] p594～598
- 久保芳和 フランクリンとアイルランド——フランクリンの旧植民地制度観補論：商学論集 22(4) p183～193
- 久保川徳治 世界経済進む再統制の渦紋：経営評論 6(3) p56～59
- 熊谷 実 世界経済情勢の推移と日本経済の動き：国際事情 1(1) p33～47
- クラーク、コーリン 1950年代における世界の貯蓄と投資——見透と提案：外国為替管理委員会月報 6 p55～68
- 小島 清 戦後国際経済の理想と現実：エコノミスト 特[50.11] p35～38
- 小島 清 世界経済論——ドル不足と貿易：経済評論 1(4)[52.4] p35～43
- 小島 清 世界経済の安定条件——無差別的な多角的自由通商と地域的ブロック主義：世界経済 4(9) p2～14
- 小島 清 国際平和の経済的条件：法哲学四季報 6 p74～98
- 小菅宇一郎 複雑怪奇な世界情勢：経済人 4(8) p5～7
- 菰淵鎮雄、原 覚天 1951年における世界経済の諸問題：[経済安定本部]経済月報 27 p41～48
- 近藤常道 世界連邦と世界経済：世界国家 8(9) p12～15
- 斎藤雄介 世界経済への参加——日本経済の現状よりみて：日産協月報 3(9)[48.9] p2～5
- 向坂逸郎 世界経済における新たな変化：経済展望 23(9) p30～33
- 向坂逸郎 世界経済は危機一歩手前：経済展望 24(6)[52.6] p25～27
- 向坂逸郎 アメリカ新大統領に世界経済：同盟時報 120 p18
- 佐多忠隆 自立経済は促進されるか：経済展望 25(12) p25～30
- 塩原禎三他 世界は日本をこう見る(座談会)：経営者 3(12) p6～7
- 島本 融 世界の新情勢——安定から再動揺へ：エコノミスト 特[50.11] p6～34
- 島本 融 最近の世界経済——朝鮮擾乱後二年間の推移：商学討究 3(3)[52.11] p349～365
- 清水隆克 ア新大統領と世界経済の動向：同盟時報 120 p36
- 下田将美 平和に悩む国際経済：同盟時報 132 p20～24
- 下中弥三郎 世界連邦国土計画一試案：共通の広場 1(5)[52.10] p57～72
- 下中弥三郎 世界連邦アジア会議の世界政治経済史的意義：世界国家 6(11)[52.11] p14～16
- 杉田揚太郎、後藤營之助 眼でみた世界の経済(対談)：景気観測 65 p20～23
- 須田恒一 世界経済「異変」の正常性：前進 21[49.4] p80～85
- ステューヴンス、エドモンド ヴァルガ論争とその意義——附・問題の結末[「クリスチャン・サイエンス・モーター」紙4月29日号所載]：中央公論 64(7)[49.7] p53～54
- 関口啓太郎 世界経済の諸問題と日本の経済自立：世界経済 4(3)[49.5] p2～11
- ソープ、ウィラード・レ. 世界経済はどうなる(大熊良一訳)：財政経済 4(8) p1～5
- 高木祐一郎 世界経済中だるみの現状：市場分析 2(9) p9～14
- 高田保馬 戦争放棄の社会経済的基礎——世界単一国家論をめぐる：改造 32(1) p20～31
- 高橋利一 特需から「賠償特需」へ：ダイヤモンド 42(44) p3694～3695
- 高橋利一 M・S・A・復興特需にほろ酔うな：東洋経済新報(別冊) 15[53.9] p50～53
- 竹中勝男 ヨーロッパ1953年：婦人公論 39(12)[53.11] p108～113
- 田路舜哉 世界産業の展望：経済人 4(9) p2～4
- 千金良宗三郎 本年の国際経済と日本経済：新日本経済 17(1) p14～15
- 千葉幸一 国際経済への参加：通信労働 3(1)[49.1] p22
- 都留重人 国際経済と日本：世界 49 p23～32

ディーン, ヒュー 世界経済との関連——1949年アメリカ経済の動向(堀江忠男訳): 朝日評論
4(9) p35~39

東郷文彦 国際経済機関への加入問題: 経済連合 52['52. 4] p118~121

友岡久雄 世界経済と日本の再建: 大 学 6['48. 9] p1~9

豊崎 稔 日本産業と世界経済: 時 論 4(8) p2~8

長岡新治郎 重商主義下における植民地成立の二形態: 歴史教育 2(12) p29~34

中島正信 世界経済の意義: 早稲田商学 81 p17~32

中西市郎 両大戦間に於ける世界経済の一分析: 経営と経済 32(2) p109~132

中山伊知郎 世界経済の希望と不安: 世界経済 6(5) p10~16

西沢富夫 世界経済の変質——戦後植民地の問題: 経済評論 3(12)['48. 12] p36~41

野々村一雄他 転換期に立つ世界経済と日本——討論: 経済往来 5(11) p32~46

バークホーン, フレデリック・C. ヴァルガ論争とその意義: 中央公論 64(7)['49. 7] p41~53

波多野 真 前大戦後の「安定」について: 世界経済 5(6) p41~50

浜田恒一 赤い土: 前 進 19['49. 2] p51~53

平野常吉 帝国主義の植民地貿易及び投資政策: 経済志林 20(2)['52. 4] p24~44

平松敏雄 経済からみた国際情勢: 教育新潮 3(1)['52. 1] p14~17

深沢八郎 二重経済と複合社会——「熱帯植民地経済研究」序説: 農業総合研究 2(4)['48. 10] p1~42

藤井 茂 国際経済への不均衡の原因と対策: 帝人タイムス 22(10)['52. 10] p14~17

藤瀬五郎 世界経済における日本: 外交時報 112(1) p94~96

ブラケット, P. M. S. おそろしい裂け目: 世 界 102 p168~172

プレスマン, アルバート 世界開発は世界各国の共同で——国際協力機構提案の意義: 東洋経済新報
2509['52. 2] p544 ~546

堀江忠男 “平和の脅威”と世界経済: 実業之日本 56(9) p14~17

堀江忠男他 スターリン死後の国際新情勢と日本経済・更に孤立化を促進か(座談会): エコノミスト
31(12) p12~18

堀江忠男他 20世紀後半に於ける世界経済の課題(座談会): 世界経済 5(4) p16~32

マイクセル, R. F. 国際不均衡と戦後の世界—2—: 世界経済 5(5) p33~45

真島毅夫 MSA援助・復興特需にどれだけ期待できるか: 新日本経済 18(1) p22~25

松尾泰一郎 東京から東京へ: 貿易界 23 p20~23

マッキントッシュ, W. A. NATOの対立——アメリカとスターリング貿易: 世界経済 8(4) p38~44

松田悌四郎 世界経済の潮流と日本経済: 新日本経済 15(10) p14~15

三浦鏡太郎 新時代の世界経済: 東洋経済新報 2474 p30~32

宮崎 勇 戸迷いする世界経済の背景: 新日本経済 18(11) p18~20

武藤光朗 世界経済におけるイデオロギーの役割: 経 済 3(1)['49. 1] p12~15

村山公三 第一次大戦後の世界経済の解体——風雲世界経済小史: 経済展望 24(6)['52. 6] p64~65

村山 節 変動を示した世界経済: エコノミスト 31(28) p64~68

村山 節 不安動揺する世界経済: エコノミスト 32(41) p18~21

村山 節 第2次大戦による世界経済の変貌——動力・生産力及び貿易の面からの分析: 統 計
3['49. 3] p4~15

森沢昌輝 国際経済と国際観光: 観 光 47 p2~7

楊井克巳 植民地: 世界春秋 1(2) p7~14

矢野智雄 転機に立つ世界経済—1~4—: 経済展望 26(4) p80~82, 26(5) p41~43, 26(6)
p81~82, 26(7) p34~37

矢部利茂 北大西洋条約の経済的影響: 日本経済新報 2(10)['49. 4] p7~8

山口正吾 世界経済の現段階とアメリカの政変: 政 策 1(1) p12~15

山口正吾 戦後の世界経済: 世 界 41['49. 5] p23~33

山口正吾 後退と前進——世界経済の回復と矛盾: 世界週報 30(32) p6~8

山口正吾 安定と復興と軍拡——世界経済の変化と日本: 世界週報 31(47) p10~13

山崎勉治 国際平和の経済体制——国際協同組合連盟の規約について: 労働問題研究 39 p85~95

- 山田亮三 世界経済の憂鬱：時の法令 84 p24～27
- 山田亮三 世界経済の潮流：時の法令 140 p20～23
- 山本 登 世界経済講座—1, 2—世界経済をいかに把握するか：世界経済 7(3)〔'52.3〕 p51～60,
7(4)〔'52.4〕 p50～60
- 与謝野 秀 世界の共産勢力と各国の反共政策：財政経済 3(11)〔'49.11〕 p16～22
- 吉植 悟 世界経済における鉄工業生産力発展の地域差に関する資料的覚書—下—：世界経済
7(10)〔'52.10〕 p47～55
- 吉沢清次郎 世界経済の前途観：実業展望 22(1) p4～5
- 吉田義三 戦後の経済変動：バンキング 61 p16～26
- 吉野俊彦 復興特需と日本経済：産業と経済 7(8) p16～17
- 吉村 侃 国際経済人の横顔——自由人ジャコブソン氏のことども：エコノミスト 29(12) p23
- 吉村 侃 ジュネーブから横浜まで：世界経済 4(3)〔'49.5〕 p52～60
- 依田信太郎 国際経済政策の再編成：東 商 84 p19～21
- 渡辺誠毅 深刻な試練に立つ世界経済：経済往来 5(5) p20～25
- アイクの勝利と1953年の世界：ダイヤモンド 41(7) p20～25
- アメリカの資力と世界経済——マーシャル・プランを中心として：人文科学研究 9 p1～163
- 安定より自立への諸問題——復興への途は開かれたか：世界週報 31(16) p8～14
- 海外重要統計：世界週報 30(9)〔'49.3〕 p32
- 過去五ヶ年の回顧——貿易と特需：〔大和銀行〕経済調査 68 p48～54
- 危機をはらむ世界経済：ダイヤモンド 38(1) p64～69
- 北大西洋同盟——世界経済事情：世界経済 4(1)〔'49.3〕 p10～12
- 協力的世界社会の創造——ローマ大会経済社会委員会報告：世界国家 5(9) p3～7
- 岐路に立つ世界経済：世 界 85 p52～55
- 岐路に立つ世界経済——第二次ドル不足深化と第二次米国対外援助の対決：東洋経済新報 2504〔'51.12〕
p45～47
- 講和後の対外経済関係を見る：エコノミスト 別〔'51.4〕 p75～82
- 国際協同組合デーの話：農業協同組合 64〔'52.9〕 p57～60
- 国際経済機構への加入について：〔経済安定本部〕経済月報 36 p9～12
- 国際経済人の横顔：エコノミスト
- カール・ブレッシング氏(北村孝治郎) 29(24) p22
- 親日的なユダヤ人マックス・ワーブルグ氏(北村孝治郎) 29(31) p21
- 渋沢敬三氏(神鞭常泰) 29(32) p30
- 国際経済における自由化への動きとその当面する困難：富士銀行調査時報 66 p27～57
- 国際経済における二つの経済的問題点：海外経済事情 93〔'52.2〕 p36～38
- 国際経済の焦点：経済情勢 261 p1～7
- 国際商事仲裁機関加入の問題：政治経済 326〔'49.2〕 p12～13
- 最近の植民地・従属諸国における民族解放運動と平和擁護闘争—2—：新時代 2(2) p60～89
- 最近の世界生産推移：外国為替 77 p28～29
- 自由世界における富の再分配——本年最大の課題：大和投資資料 147 p4～5
- 主要外国経済統計：エコノミスト 26(35)〔'48.12〕 p33～34
- 新年度世界経済の課題：財界観測 9(1) p23～30
- 西欧の域外調達とわが特需動向：エコノミスト 32(50) p32～33
- 世界各国政治経済の鳥瞰—上, 下—：東洋経済新報 2405 p28～41, 2406 p24～28
- 世界経済への窓——国際経済機構への加入：ファイナンス・ダイジェスト 6(7)〔'52.7〕 p20～21
- 世界経済における二つの焦点：海外経済事情 81 p4～5
- 世界経済の推転：経済評論 5(10) p42～47
- 世界経済の底も浅い：東京銀行月報 4(4)〔'52.4〕 p1812
- 世界経済の発展限度—3—：経済展望 23(9) p58～59
- 世界経済の見透と対応策(座談会 堀越他)：経済連合 19 p10～23
- 世界鋳工業の第1・4半期生産高：世界週報 35(23) p70～71

世界生産の躍進：東洋経済新報 2488 p14～15
 世界政治経済の新躍動とリスボン会議の成果：経済展望 24(4)〔'52.4〕 p38～39
 世界の生産と貿易の回復(大蔵省理財局調査部編)：大蔵省調査月報 38(4)〔'49.4〕 p154～156
 世界は平時経済へ転換：ダイヤモンド 42(6) p266～269
 旋回する世界経済の律動：経済時代 17(2)〔'52.2〕 p30～32
 第三勢力の経済的背景：経済新潮 2(2) p55～57
 第2・4半期世界生産高——国連統計10月号：世界週報 34(33) p64～65
 転機に立つ世界経済：東洋経済新報 2377〔'49.6〕 p17～23
 転機に立つ世界経済——耐乏と輸出増強策の矛盾：東洋経済新報 2373〔'49.5〕 p3～7
 東西“繁栄”競争の展開(X・Y・Z)：経済評論 3(2) p103～106
 特需と国際収支(1952年の実績)：海外経済事情 129 p240
 パン神の訪れ——米国不況と世界経済の前途[国際展望]：日本評論 24(9) p50～53
 復興経済の転換：中外経済時報 1(3) p38～41
 平和攻勢に戦く世界経済：エコノミスト 別〔'53.4〕 p31～37
 ボンド地域問題——「エコノミスト」誌'48年5月1日8号より訳出(大蔵省理財局調査部誌訳)：
 大蔵省調査月報 37(15)〔'48.11〕 p105～113
 毛沢東の世界革命覚え書：別冊東洋経済 1(4) p42～45
 1953年国際経済の課題：[住友銀行]経済月報 50 p31～35
 1953年3・4半期の世界生産高：世界週報 35(6) p70～71
 1953年における世界の鉱工業生産：大蔵省調査月報 43(8) p90～95

<昭和30年～39年>

青葉輪於 卒直なる意見をきいて：経済往来 10(6)
 赤松 要 世界経済の当面の問題点：世界経済評論 7(1)
 赤松 要 十年間の世界経済発展と日本経済——日本経済の国際的地位：世界経済評論 7(7)
 足立 正他 世界経済の中の日本——各経済使節団の結論を中心に(座談会)：経団連月報 11(1)
 アドラー, J. H. 世界経済の成長：海外経済月報 '56(12)
 アファナシェフ, A. 主要産金諸国における金の生産費と収益性：世界政治経済資料 131
 有沢広巳 開放経済の中のナショナリズム：エコノミスト 別冊〔'63〕
 有吉義弥他 スエズ運河国有化の波紋(座談会)：中央公論 71(10)
 アルズマニヤン, アー. 両世界機構の構造：世界週報 39(34)
 飯塚浩二 国際信用は果して下ったか：中央公論 75(9)
 生田一之 ICC 第17回総会における米国議会指導者との質疑応答：調査月報(三井銀行) 291
 生野隆由 “夢の60年代”の底流を探る——世界経済の構造上の問題点：外国為替 225
 生野隆由 巨頭会談決裂と国際経済：外国為替 236
 井汲卓一 世界経済の現局面における諸問題—(1), 2—：産業貿易研究 10, 11
 石井照久他 国際的商業及び経済発展の促進について——アジア会議：自由と正義 12(11)
 市川恒三 日本の借金：経済往来 8(9)
 井上忠勝 モルガン海運トラストの失敗——国際経営問題の性格に関連して：国民経済雑誌 95(3)
 伊原 隆 世界は手をつなぐ——ICC 会議に出席して：外国為替 249
 井深 大他 激動する世界経済と経営者(座談会)：エコノミスト 41(7)
 伊部政一他 岐路に立つ世界経済政策：新日本経済 19(3)
 ヴァルガ, イェ. 戦後産業循環の諸問題と新しい過剰生産恐慌(大坪平八郎訳)：経済評論 7(9)
 ヴァルガ, イェ. 世界経済恐慌ははじまっている——エフゲニー・バルガ, 最新の「恐慌論」から
 (村田次郎評解)：世界週報 39(31)
 ヴァルガ, イェ. 恐慌と労働者階級：平和と社会主義の諸問題 2(8)
 ウィリアムソン, J. 英米同盟の経済的矛盾：平和と社会主義の諸問題 2(9)
 内田勝敏 食糧・原料品の世界貿易における独占の問題：経済評論 10(1)
 大内兵衛他 人工衛星下の世界経済(討論)：世界 145
 大内兵衛 まがりますからご注意を願います——世界経済における日本の位置：世界 169
 大島堅造 四巨頭会談後の世界経済：経済論壇 1(3)
 大島堅造 世界経済における不均衡とその改善策：財政経済弘報 653
 大島堅造 世界経済における日本の地位：世界とわれら 35(3)

- 大藺英夫 世界経済戦后十年の動向：貿易界 65
 大野信三 現代の世界経済：海外事情 4(2)
 岡倉伯士 世界経済の認識—1,2完—：山口経済学雑誌 13(2,3)
 岡田 清 世界経済の安定と進歩について——第一回国際経済学会より：経済往来 10(8)
 岡田睦美 国際経済の場における大量集計の技術側面について：竜谷大学経済学論集 3(3)
 岡野鑑記 第一次大戦後の世界経済の変動—上, [下]—：商経法論叢 6(4), 9(1-2)
 岡山 隆 国際経済における独占的競争の発生条件をめぐって：早稲田政治経済学雑誌 178
 小椋広勝 世界経済について：月刊総評 9
 小椋広勝 十年後の世界経済とその構造：経済評論 9(9)
 小椋広勝 世界経済の構造変化：世界経済評論 36
 尾崎英二 最近の経済発展の国際比較：外国為替 127
 尾崎英二 世界経済の将来：外国為替 178
 尾崎英二 国際経済問題雑感：外国為替 224
 尾崎英二 今年の世界経済を動かすもの：外国為替 248
 小野朝男 最近の金問題——最近の世界経済と金：世界経済評論 52
 小原敬士 世界経済の再建とアメリカの国際収支：金融経済 31
 ガーディナー, A. 日本の発展はよい手本：世界週報 44(44)
 片桐良雄 世界経済の一本化：外国為替 309
 加藤周一 特集・精神的失業と不平等の国際化：エコノミスト 38(13)
 加藤友則 財界のきのうときょう：エコノミスト 39(31)
 加藤正秀 国際経済の発展と日本の国際収支——中心国国際収支との対比：経済評論 13(3)
 カトコフスキー, ヤ. 世界資本主義市場におけるアメリカの経済的膨脹：世界情勢旬報 247
 金沢良雄 国際経済法と自由化：経済法 3
 加納久朗 タイムリーだった教授の来日：経済往来 10(6)
 神谷克巳 国際経済の不均衡要因——1930年前後との比較：財政経済弘報 673
 川井克俊 国際カルテル：公正取引 156
 —1,2— 156, 158
 —3,4—国際石油カルテル 160, 162
 神野正雄 流動する国際経済と日本経済：経営者 17(4)
 神野正雄 国際収支の悪化と国際環境：東 商 173
 木内信胤 A・A諸国の動向と国際政局の将来：アジア経済 3(4)
 木内信胤 ハロッドからの新たな発見：経済往来 10(6)
 木内信胤他 現実問題を組上にのせる——産画会議の自由討議より(座談会)：経済往来 10(7)
 木内信胤 Foreign Affairs 四月号全篇の紹介—下—：世界経済 13(7)
 木内信胤 海外経済の印象：世界週報 37(19)
 木内信胤 判断と意見——これからの世界の焦点：論 争 4(10)
 儀我壮一郎 自由化による産業構造の変化と企業集中：公正取引 118
 菊地敬夫 ねらわれる日本市場——国際的ビッグ・ビジネスの動向：エコノミスト 40(41)
 北裏喜一郎 ケインズ門下の逸材：経済往来 10(6)
 喜多村 浩 現段階における先進国と後進国：経済評論 7(13)
 喜多村 浩 世界経済の指導原理：中央公論 76(9)
 木村禧八郎他 恐慌か繁栄か(座談会)：総 合 1(2)
 木村敏男 機械工業の国際的競争力——技術革新をめぐって：経済評論 10(3)
 工藤昭四郎 現実と遊離への懸念抱く：経済往来 10(6)
 久保兵衛 第二次大戦後における石油をめぐる英米の斗争：研究と資料(大阪市大) 4
 熊本 洋 アメリカのみた日本経済：貿易クレームと仲裁 8(3)
 クレイン・イアネス, H. V. 世界の硬質せん維経済——問題点と見通し：国際食糧農業 12(8)
 紅林茂夫他 世界経済の構造と日本経済の進路：調査時報(富士銀行) 100
 黒田英雄 国際経済における自由化の背景と問題：海事研究 41
 桑原季隆 世界経済の新しい見方——この大転換を、どのように理解するか：世界経済評論 7(2)
 桑原季隆 世界鉄鋼業のカルテル体制：鉄鋼界 7(7)
 神野璋一郎 現在の不況の性格について——アメリカ経済を中心にして：経済評論 7(9)
 神野璋一郎 開発国における工業成長：世界経済評論 6(12)
 後藤誉之助 発展の三つの柱とサイクルの現局面：経済評論 7(3)
 小林珍雄 産児制限と世界経済と信仰：ソフィア 7(1)

- 小松勇五郎 開放経済体制の進行について：外国為替 316
- 斎藤栄三郎 国際情勢と日本経済：信用金庫 9(6)
- 崎山昭治 教育投資と経済発展——理論的課題と国際協力の長期態勢：アジア経済 3(8)
- 佐藤栄作他 欧米の巨頭たちと会って——佐藤栄作氏は語る：エコノミスト 40(47)
- 佐藤喜一郎他 本年の世界経済と日本(座談会)：経団連月報 8(1)
- サンターロフ, A. 鉄鋼資源と鉄鋼業における世界支配を統る帝国主義的斗争(中田操六訳)：福岡大学研究所報 1
- シーアーズ, D. 海外調査のエコノミストが成功を収めない理由(首藤宣通訳)：海外資料(電源開発) 7(2)
- 島 義治 海外経済：経済情勢 318
- 清水貞俊 地域開発と欧州投資銀行：立命館経済学 11(4)
- 下田将美 転機に立つ世界経済：商工経済 8(6)
- ジョンソン, U. A. 日本・アメリカ・ヨーロッパ(ドキュメント)：世界週報 44(16)
- シルス, E. 知識階級の役割：エコノミスト 35(16)
- 杉本昭七 「二つの世界市場論」に関する一試論——木下悦二教授の見解に対して：関西大学商学論集 5(5)
- 鈴木徹三 石油産業における国際的独占の発達——1—：経済志林 24(1)
- 鈴木不二男 公正なる国際商取引と工業所有権保護に関する同盟条約不正競争防止法その他に付いて：貿易クレームと仲裁 10(9)
- スタイン, G. 第三の産業革命：世界 181
- スタイン, G. 工業力の発展と十年後の世界：世界 185
- 瀬川美能留 新しい世界を見て：経団連月報 8(9)
- 芹沢彪衛 ビジョンと現実：月刊総評 69
- 高垣勝次郎 世界経済と日本の現状：東商 179
- 高木良一 海外調整過程と日本経済への影響：経済評論 14(1)
- 高杉次郎 世界経済危機と経済政策：世界経済評論 47
- 高田保馬 世界経済の変容：経済人 14(1)
- 高橋正雄 世界経済の変貌をめぐる諸問題：貿易研究 8
- 高山勝秀 国際経済の今後の動向と日本：東商 127
- 竹中一雄 機械工業の国際競争力：世界経済評論 4(6)
- 竹浪祥一郎他 海外経済論調：経済評論 8(4~6)
- 武村忠雄 世界経済問題の二焦点：経営者 11(10)
- 田代茂樹 化合織——企業規模と国際競争：経済人 16(4)
- 都留重人 巨頭会談後の世界経済：世界 118
- トーマス, B. 1945年以後における資本と労働の国際移動：世界の労働 6(11)
- 徳久 茂 第12国連総会の経済問題：国連評論 37(2)
- ドップ, M. 1957—58年の経済恐慌：社会主義政治経済研究所研究資料 4(2)
- 中島正信 技術革新と世界経済：早稲田商学 162
- 永野重雄 世界経済再編成へ日本はどう対処すべきか：東商 177
- 中村佐一 世界の動きと日本経済：経済時代 20(2)
- 永森正治 国際経済同盟形成の政策原理——中——：富山大学紀要経済学部論集 5
- 中山伊知郎 世界経済の安定と進歩：エコノミスト 34(45)
- 中山伊知郎 東西経済の接近：所報(生命保険文化研究所) 10
- 中山素平 ハロッド教授と日本の財界：経済往来 10(6)
- 難波田春夫 ワーゲマン「明日の世界」：経済学の進歩のために 1
- 西村純平 米英を中心とした国際経済の現状：関西経協 9(9)
- 野口雄一郎 国際独占と国際カルテル：公正取引 126
- 野村隆夫 技術革新に関する若干の問題：世界経済評論 57
- 馬場宏二 1920年と1929年——世界経済覚書——1——：商経法論叢 15(2)
- 早川鉄男 自由・共産両陣営と中立圏の経済力：日本及日本人 11(1)
- 林 雄二郎 EEC・PEC・AEC：中央公論 77(5)
- 林 雄二郎 一流国日本の経済的条件：中央公論 78(7)
- 林 雄二郎 世界経済の問題点と将来——集団化する世界経済と産業構造の変化：日本及日本人 13(2)
- 原 覚天 拡大する世界経済の不均衡性：中央公論 72(6)
- 原 吉平 国際繊維競争とわが綿業：経団連月報 9(7)
- バリッシ, J. 鉄鋼と世界勢力均衡(広島敬太郎訳)——1, 2——：外政 6, 7

- ハロッド, R. 逡巡の時期: 東京銀行月報 10 (9)
- 坂内富雄 共産主義に挑戦するには——マルクス経済学の破産: 世界週報 40 (37)
- 弘田嘉男 戦後のアメリカ資本主義と後進国: 経済評論 7 (13)
- 藤井正夫 外国経済事情に関する資料: びぶろす 7 (10)
- ブラウン, O. 植民地主義の支柱は崩壊しつつある: 平和と社会主義の諸問題 5 (8)
- ブラウントール, A. 経済的進歩とその課題: 月刊自由労連 2 (3)
- ブラケット, P. 技術と世界の進歩: 世界 145
- ブレッシング, K. 日本外交協会におけるカール・ブレッシング, 西ドイツ・ブンデスバンク総裁講演: 調査月報 (日本銀行) 14 (5)
- ペロウス, T. 国際独占体と経済的後進諸国: 社会主義政治経済研究所研究資料 7 (11)
- 堀江薫雄 中東問題が世界経済に及ぼす影響: アジア問題 6 (2)
- 堀江薫雄 先進国と後進国: 外国為替 293
- 堀江薫雄他 世界経済と日本経済 (座談会): 経営者 16 (9)
- 堀江薫雄 不況の深化は調節できる: 経済評論 7 (3)
- 堀江薫雄他 今日の世界・明日の世界 (座談会): 世紀 138
- 堀江薫雄 世界経済にどう響く: ダイヤモンド 44 (50)
- 堀江薫雄 世界経済を見てきた眼から: 中央公論 75 (3)
- 堀江忠男 “軍縮の経済学”の全人類的意義: エコノミスト 40 (16)
- 本多昭治 第2次世界大戦後の技術と経済の関係について: 科学史研究 50
- マイドナー, R. ダイナミックな世界経済の必要: 月刊自由労連 5 (1)
- 松尾邦之助 5年後の日本と世界経済: 政経指針 2 (11)
- 三木邦男 ADELA 投資会社の発足と今後の問題: 経団連月報 12 (10)
- 御園生 等他 国際競争にどう備えるか (座談会): エコノミスト 40 (17)
- 美濃部亮吉 世界経済の明るい面と暗い面: 世界 138
- 美濃部亮吉 これが世界の経済だ: 中央公論 74 (17-附)
- 三宅武雄 貨幣面からみた世界主要国の経済進歩: 金融経済 32
- 宮野昇太郎 世界の経済統計: 経済人 10 (4)
- 宮野昇太郎他 戦後十年の世界経済: 経済人 10 (10)
- 森 七郎 世界不況の潮流: 協同組合経営研究月報 60
- 森 武夫 軍縮問題と世界経済: エコノミスト 33 (37)
- 森田桐郎 不均等発展と物価運動の国際的側面: 経済評論 13 (9)
- 矢内原 勝 政治的独立の経済的意味: コリア評論 5 (6)
- 山際正道 内外の経済情勢について: 経団連月報 6 (3)
- 山路鎮夫 二重課税の回避及び脱税の防止のための条約: レファレンス 11 (12)
- 山本 登 均衡成長と日本の課題: 経済往来 10 (8)
- 山本 登 ハロッドの自信と悲願——世界経済体制は再調整期にある: 経済往来 10 (6)
- 山本 登 世界経済体制の再調整期: 三田学会雑誌 51 (3)
- 山本 登 戦後世界経済の諸特徴: 三田学会雑誌 57 (3)
- 山本 優 戦後における植民地利潤: 経済評論 7 (13)
- 山本 優 ヨーロッパ独占体の国際的結合の新局面: 経済評論 10 (1)
- 除野信道 植民地経済の解消と窮乏化: ソフィア 9 (3)
- 吉田義三 「中位」の不況か——現れ始めた全般的需要の低下: 経済評論 7 (3)
- 吉野俊彦 国際経済の趨勢とわが国経済: 信用金庫 12 (7)
- 吉村朝夫 第二次大戦後の原料エネルギー問題: 産業労働研究所報 (九大) 28・29
- ロビンソン, E. A. G. 世界のレセプションとイギリスの経済政策: 調査月報 (大蔵省) 47 (7)
- 渡辺浩太郎 日本海6県知事に「臨海工業地帯開発と港湾整備の抱負」を聞く: 港湾 40 (10)
- 渡辺 武 世界経済の中における日本: 産業貿易研究 16
- 渡辺 武 国際経済と日本: 調査時報 (日本不動産銀行) 11
- 外国経済: 経済人 9 (11)
- 外相会議失敗の影響: ダイヤモンド 43 (55)
- ガット交渉と世界経済再編成: 経済評論 12 (7)
- 来るべき恐慌とビルト・イン・スタビライザー: 世界情勢旬報 349
- 来るべき恐慌の時期と規模 (マンスリー・レビュー誌編集部): 社会主義政治経済研究所研究資料 4 (6)
- グラフでみたソ連の“転換”: エコノミスト 34 (10)
- 激化する国際競争と企業合同 (特集): 世界経済評論 6 (7)

- 原子力と世界経済(特集):世界経済評論 38
 国際間の交流深まる世界の経済:協和銀行調査月報 108
 国際競争と企業規模(特集):通商産業研究 8(6)
 「国際競争力」を吟味する——会計的評価の方法とその限界(特集):企業会計 16(10)
 国際経済概観:海外経済月報 '58(9)
 国際経済機構加盟を示唆するソ連:エコノミスト 33(39)
 国際経済統計:海外経済月報 '57(1)
 国際経済特集号:経済学雑誌 40(3)
 国際経済とわが国の方途:[伊藤忠]調査時報 68
 国際経済分析資料—1,2—:通商調査月報 57, 59
 コスト面からみた企業競争力の国際比較——ファースト・ナショナル・シティ・バンク月報4月号より:
 経済月報(住友銀行) '62(6)
 今年度世界経済の問題点:経済月報(三和銀行) 301
 ジュネーヴ会談後の世界経済:世界情勢旬報 265
 循環性恐慌か中間恐慌か:銀行労働調査時報 90
 新世紀を迎える世界政治経済:経済展望 27(9)
 新年世界経済の重要問題:経済月報(住友銀行) 158
 数字で見る経済の動き——主要国経済指標:経済論壇 1(1)
 スエズ問題をめぐって:通商調査月報 66
 スエズ問題の経済的影響:東洋経済新報 2740
 政治経済に新徴候現わる:経済展望 27(7)
 世界経済:政経時潮 10(5)
 世界経済の成長と鉄鋼業の将来:調査月報(日本開発銀行) 10(6・7)
 世界経済の変遷と将来——下:国連 41(12)
 世界と日本の直面する課題(特集):経済評論 12(1)
 世界の金・ドル引続き増加:ダイヤモンド 43(30)
 世界の経済構造をめぐって:通商産業研究 5(1)
 世界の経済統計:経済人 10(7)
 世界のビッグ・ビジネス——米誌「フォーチュン」がまとめた世界の企業者長者番付:別冊中央公論経営問題
 1(1)
 先進国と後進国の新しい環境(特集):経済評論 7(13)
 総選挙後の西独と世界経済:世界情勢旬報 336
 調整段階とアメリカ経済の不安:経済評論 6(12)
 転換点に立つ世界の政治と経済:新日本経済 19(8)
 転機にたつ世界の政治と経済:経済評論 9(9)
 東欧動乱の経済的背景:経済評論 6(1)
 日本経済十年の歩み——政治・外交:東洋経済新報 2692
 日本経済の現状と国際環境(特集):世界経済評論 6(1)
 ハロッドの世界経済論に与う(特集):経済往来 10(6)
 米国の世界経済振興策:世界週報 39(37)
 両大戦後における国際経済関係の比較:調査月報(内閣調査室) 7(8)
 Foreign Affairs 七月号全篇の紹介—上, 下—:世界経済 13(9, 10)
 1957年を迎えて:東京銀行月報 9(1)

(経済展望・動向)

<昭和23年～29年>

- 石川君太 世界はどう動く:政経時潮 4(2)['49.2] p9～12
 石橋湛山他 1953年の世界経済の課題(座談会):東洋経済新報 2556 p165～173
 板垣与一 世界経済の安定と復興は成るか——1949年世界経済の展望:産業と産業人 2(1)['49.1]
 p6～9
 板垣与一 昭和24年の世界経済を顧みる:実業之日本 52(24) p4～7